

高調波検出継電器検査成績書

納入先 _____

検査期日 年 月 日

工事番号 _____

形 式	M-2C32	定 格 電 圧	— V cont.	定 格 周 波 数	Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	A cont.	動 作 表 示 器	
準 拠 規 格	JEC-174	整 定 範 囲	L : ~ A	素 子 型 式	MHH-32
制 御 電 圧	DC V		H : ~ A	製 造 番 号	
第3高調波検出用			LT : ~ s	器 具 番 号	
			HT : ~ s		

試験項目・試験結果

温度 _____ °C

湿度 _____ %

試験項目	試験内容	試験結果
構造検査	外観・構造・表示事項及び塗装	
絶縁抵抗試験	回路一括・外箱間：10MΩ以上（規格値）	
耐電圧試験	回路一括・外箱間：2.0kV 60Hz 1分間	
特性試験	（注）下記項目の試験を実施する。	

1. 制御電源開閉

制御電源の入切、低下、瞬断にて誤動作しないこと。

2. 動作値（試験周波数： Hz）

L 整定	A	A	A	A	A
動作値	A	A	A	A	A
H 整定	A	A	A	A	—
動作値	A	A	A	A	—
判定基準	各整定値の±10%以内				

3. 動作時間（試験周波数： Hz）

〔I整定：最小，入力：0 → 整定の200%〕

LT整定	最小	最大	HT整定	最小	最大	判定基準
	s	s		s	s	
動作時間	s	s	動作時間	s	s	

4. 復帰時間（試験周波数： Hz）

〔I整定：最小，T整定：最大，入力：整定の200% → 0〕

復帰時間		判定基準
L要素	ms	300ms以内
H要素	ms	

5. 周波数特性〔I整定：最小〕（右端の（ ）内は試験周波数を示す。）

イ) 整定値の28倍の基本波を印加して動作しないこと。（ Hz）

ロ) 整定値の4倍の第2調波を印加して動作しないこと。（ Hz）

ハ) 整定値の6倍の第5調波を印加して動作しないこと。（ Hz）

承認	作成